

会 議 名	第2回道路下空洞調査委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年7月1日（月曜日） 午後6時00分から午後6時45分まで
開 催 場 所	港区赤坂地区総合支所 2階中会議室
委 員 員	<出席者> 5名 鈴木委員長、峯岸委員、秋葉委員 新宮赤坂地区総合支所長、杉谷赤坂地区総合支所まちづくり課長 <欠席者> なし
事 務 局	赤坂地区総合支所まちづくり課土木担当係長、まちづくり係職員
会 議 次 第	1 開会 2 議題 （1）第一次審査結果について （2）第二次審査について 3 今後のスケジュール 4 閉会
配 付 資 料	[席上配付] 1 道路下空洞調査委託 事業候補者選考第一次審査結果集計表 2 道路下空洞調査委託事業候補者選考委員会進行スケジュール （案） 3 道路下空洞調査委託事業候補者選考第二次審査に関する留意事項 4 道路下空洞調査委託 採点基準表（第二次審査）（案） 5 第1回道路下空洞調査委託事業候補者選考委員会 議事録
会議の結果及び主要な発言	
事務局 委員長 A委員 B委員	1 開会 2 議題 （1）第一次審査結果について （事前に各委員・事務局が採点した一次審査結果の集計表について説明） A事業者の合計が840点、B事業者の合計が843点となりました。 それでは審議いたします。まず、採点の結果について評価したポイントなどの公表をお願いします。 提出された企画提案書から同じ項目について優劣の評価を行いました。両者から提出された企画提案書を確認するとB事業者の方が優れていると判断しました。 各委員と同じような傾向で、B事業者の採点結果が高い結果となりました。

<p>委員長</p>	<p>た。よく書かれた企画提案書がB事業者から提出されたという印象です。</p> <p>私も同じくB事業者はしっかりしている印象を受けます。とはいうものの、A事業者も問題はなく書かれている印象です。</p> <p>しかしながら、見積額や加点項目で拮抗した結果となりました。拮抗したという結果についてはどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>A委員</p>	<p>基本事項や企画提案の項目を確認しますと、A事業者よりB事業者の方が業務内容を理解して細かく提案をされていると感じました。</p>
<p>B委員</p>	<p>決してA事業者が悪いというわけではありません。それぞれ一長一短があると感じます。A事業者ははっきりと空洞と定義できないような対象について自費で調査するとの記載があります。対してB事業者は全体的に細かく書かれており、特に判定方法についてしっかりとした記載があり、両事業者甲乙つけがたいかと思えます。</p>
<p>委員長</p>	<p>私も同じ感想です。</p> <p>今回の一次審査はどちらかを落とさないといけないものではありません。特に見積価格に重きを置くようなことがなければ、構わないのかと思います。</p>
<p>B委員</p>	<p>第二次審査の結果、見積価格が高いB事業者になったとしても、区としては問題ないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>見積価格については事務局の方で採点させていただいています。そこに今回各委員に採点いただいた内容が合わさって3点差となっています。仮に二次審査の結果でB事業者になったとしても、区の事業規模としては予算内に入っており、履行は十分できるかと思えます。そのため、審査の結果決定した事業者をお願いしたいと考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>一次審査の採点について、ここまでの議論を踏まえて変更したいところがあれば、変更ができます。各委員お考えいただきますようお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>各委員の採点を確認させていただいたところ、同項目に対して、委員によって3点以上の差がついた箇所はありませんでした。おおよそ各委員点数の付け方は同じかと思えますが、ここまでの議論や各委員の採点を確認されて点数の微調整なども行っていただいて構いません。</p>
<p>委員長</p>	<p>B事業者 はいろいろなコンペティションに参加した経験が多く、提案が上手な印象があります。A事業者は真面目にたくさん分量を書いているという印象を受けました。</p> <p>私の採点はこのままで問題ありません。</p> <p>(各委員も同意)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、一時審査通過者の決定に移ります。最終的な総合計点について確認したいと思いますので、事務局よりお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>最終的な採点結果についてご説明します。A事業者、B事業者ともに採点の変更はありませんでした。</p> <p>そのため、A事業者の総合計点は840点で、1000点の8割以上の得点を獲得しています。B事業者の総合計点は843点で1000点の8割以上の得点</p>

<p>委員長</p>	<p>を獲得しています。</p> <p>一次審査通過事業者は、採点が6割以上の得点を獲得する事業者となっています。このため、今回の応募してきたA事業者およびB事業者は、通過の要件を満たしているため、第一次審査通過者と決定します。(結論)</p> <p>(はいの声あり)</p>
<p>事務局 委員長 A委員</p>	<p>(2) 第二次審査について</p> <p>(配布資料2～4を基に第二次審査についての説明)</p> <p>二次審査の説明について、何か質問はありますか。</p> <p>一次審査で採点に用いた企画提案書は、二次審査では一切考慮せずに、当日のプレゼンのみで採点するものとなりますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>二次審査当日のプレゼンは企画提案書の補足説明となる想定です。提案資料とは関連付けられているため、一次審査の企画提案書も考慮していただいて構いません。</p>
<p>委員長</p>	<p>実際に採点するにあたってどれくらい差をつけるなど基準はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>特に差を設けるということはなく、二次審査のプレゼンを聞いて、A事業者が企画提案書の補足をよくできているのであれば、A事業者に加算していただいても結構ですし、B事業者が提案資料の出来がいいため、よりプレゼンもいいと思えばそのとおり加算していただいても結構です。また、両事業者ともに企画提案書とほぼ同じことをプレゼンされたと感じられましたら、差がつかないように採点されることもあるかと思えます。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>質問事項とはどういったものでしょうか。</p> <p>企画提案書をお読みになられて、疑問に思われた点をご質問いただければと思います。</p>
<p>委員長 事務局 A委員</p>	<p>まず事務局の質問を聞いてから、各委員の質問ということでしょうか。</p> <p>事務局からは質問せず、各委員から質問していただきます。</p> <p>二次審査当日に事務局の質問案を参考資料として用意してもらうことはできますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>考えられるヒアリング項目事務局で検討し、当日、参考資料として用意します。ただ、必ずそれを聞いて欲しいということではなく、あくまでも委員の皆さまの疑問に思われたことを質問いただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>プレゼンの中で質問事項の話があるかもしれませんので、臨機応変に質問できればと思います。</p> <p>質問で差をつけようということでもないですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>A事業者、B事業者ともに技術的に問題がなければ、取り組み方や企画提案書の書き方の違いかと思えますので、無理に差をつける必要はないと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>B事業者は経験豊富と感じますが、一方できちんと技術者が配置できているのかという疑問もあります。そういったところも質問していければと</p>

C委員	<p>思います。</p> <p>二次審査の採点基準について、採点基準表の(1)3、提案の発展性というのはどういったところを評価すればよろしいのでしょうか。</p>
委員長 事務局	<p>3次元モデルや、空洞探知の精度などの点かと思いました。</p> <p>企画提案書の内容では、B事業者は「3次元モデルについて」、A事業者は「空洞の優先度について」になります。区が元々求めていなかった仕様を提案していただいた点について評価していただければと思います。</p>
C委員	<p>各事業者の独自性ということでしょうか。</p>
事務局 委員長	<p>おっしゃるとおりです。</p>
事務局	<p>空洞を判定する機械改良を加えていっていることなども提案の発展性に入るかと思います。私はよく知らないのですが、機械は発展していっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>機械については、前回時点でも精度の高いものを提案・使用していただいております。解析する能力差で各事業者しのぎを削っているように見受けられます。機械については、現場にあったサイズの機械を各事業者持っているのは前回からの進展かと思います。</p>
D委員	<p>資料3について、1(3)に「事業候補者募集要項に記載する業務責任者(予定)も同席してください。」とありますが、A事業者の企画提案書には業務責任者の文字はありません。どなたが同席されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的には当日事業者にお話いただこうと思いますが、事務局としては、主任技術者として記載されている方が同席されると想定しています。もしそうでない場合は、主任技術者と別に現場責任者がいるということを確認していただければと思います。</p>
D委員	<p>どちらにしても現場従事される方からのプレゼンを受けるということですね。わかりました。</p>
委員長	<p>主任技術者がいくつかの現場を同時に担当していることは問題ありませんか。</p>
事務局 委員長	<p>兼務はできるものと考えております。</p>
事務局	<p>他にご意見がないようでしたら、採点基準の案については配布資料のとおり決定させていただきます。(結論)</p> <p>(はいの声あり)</p>
事務局	<p>3 今後のスケジュール (今後のスケジュールについて説明)</p>
	<p>4 閉会</p>